



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東  
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	99,149	0.3	15,173	△3.3	16,713	△3.0	10,060	1.6
26年3月期第3四半期	98,878	2.3	15,685	3.5	17,237	0.5	9,898	△1.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 10,294百万円 (18.5%) 26年3月期第3四半期 8,686百万円 (△23.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	173.25	—
26年3月期第3四半期	165.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	173,740	107,462	61.2
26年3月期	161,587	102,268	62.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 106,272百万円 26年3月期 101,114百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
27年3月期	—	50.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	2.6	19,500	1.9	21,300	0.3	12,200	△6.8	210.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	58,025,000株	26年3月期	58,225,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,766株	26年3月期	2,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	58,069,872株	26年3月期3Q	59,722,286株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日、以下「当第3四半期」という)におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策等の効果を背景に企業収益や雇用環境は改善するなど、景気は緩やかな回復傾向が見られるものの、消費税増税や天候不順などの影響から個人消費は依然として弱含みで推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場の店舗減少傾向が続くものの、カラオケボックス市場においては、大手事業者の出店意欲は旺盛であり、カラオケルーム数は増加基調にあります。また、成長が期待されるエルダー市場の堅調な拡大もあり、市場全体のカラオケ稼働台数は微増で推移しております。

この様ななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第3四半期の業績は、売上高は99,149百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は15,173百万円(同3.3%減)、経常利益は16,713百万円(同3.0%減)、四半期純利益は10,060百万円(同1.6%増)となりました。また、四半期純利益は、当第3四半期における過去最高を更新いたしました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	98,878	99,149	270	0.3%
営業利益	15,685	15,173	△511	△3.3%
経常利益	17,237	16,713	△524	△3.0%
四半期純利益	9,898	10,060	162	1.6%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、商品面では市場より高い支持を得ているLIVE DAMシリーズの第三世代機種「LIVE DAM RED TUNE」を当期4月に発売し、商品ラインアップの充実を図りました。また、営業面ではストック型ビジネス構造の強化を継続して推進し、機器賃貸の出荷比重を高めることに加え、エルダー市場の深耕施策を強化しました。その結果、安定収益源となるDAM稼働台数および機器賃貸契約件数は順調に増加いたしました。

しかしながら、前期の大手事業者向け取引の剥落に加え、LIVE DAMシリーズの販売が一巡したことなどにより、売上高は前年同期比4.7%減少し、営業利益は前年同期比1.6%の減少となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	50,323	47,959	△2,363	△4.7%
営業利益	10,714	10,541	△172	△1.6%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業のカラオケルームにおきましては、新店開発および幅広い顧客を取り込むためのマルチブランドと複合型店舗展開を進捗させました。業界初となる「コンビニエンスストア+カラオケルーム」一体型の新業態店舗の出店など新たな挑戦に加え、人気アーティストや宝塚歌劇団などのコラボルーム展開にも注力し、利用者の支持を得ております。飲食店舗におきましては、市場や顧客ニーズの変化に迅速・的確な対応を図るため、地域性や客層に合わせた業態開発に注力いたしました。

以上の結果、昨年取得した子会社2社の収益の寄与に加え、新店効果や既存店の改善により、売上高は前年同期比11.3%増加し、営業利益も前年同期比5.6%の増加となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	35,657	39,690	4,033	11.3%
営業利益	5,462	5,767	305	5.6%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、「北島三郎」や「水森かおり」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」や「愛乙女★DOLL(らぶりーどーる)」などの若手作品とスタジオジブリ映画「風立ちぬ」のDVD作品が貢献したものの、CD離れといった音楽視聴スタイルの変化により、事業環境は依然厳しく低調に推移いたしました。

以上の結果、リリース予定作品の延期や中止などもあり、売上高は前年同期比13.1%減少し、営業利益については原価率の高いDVDなどの映像作品の販売比率が上昇したことにより、前年同期比92.3%の減少となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	7,550	6,560	△989	△13.1%
営業利益	642	49	△593	△92.3%

(その他)

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジ光」の拡販に努めるほか、家庭で高品質なカラオケを楽しめるNTT西日本と連携した「光カラオケBOX+@DAM」や日本マイクロソフトのXbox One向け「カラオケ@DAM」のカラオケ音源の提供を開始するなど、サービスの拡充に努めました。

しかしながら、着メロなどの携帯電話向けサービスが低調に推移したことや、前期にホテル1棟を売却したことにより、売上高は前年同期比7.7%減少し、営業利益は前年同期比10.5%の減少となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	5,347	4,938	△409	△7.7%
営業利益	1,016	909	△107	△10.5%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12,153百万円増加し、173,740百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、現金及び預金が7,822百万円増加し、たな卸資産が1,016百万円及び受取手形及び売掛金が536百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、カラオケ貸貸機器が1,401百万円及びカラオケルーム及び飲食店舗設備が1,397百万円それぞれ増加し、のれんが330百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ6,959百万円増加し、66,277百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では未払法人税等が3,045百万円及び支払手形及び買掛金が464百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、長期借入金が10,129百万円増加し、退職給付に係る負債が383百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ5,194百万円増加し、107,462百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加10,060百万円、退職給付に関する会計基準の変更に伴う利益剰余金の増加447百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少4,938百万円及び自己株式の取得による減少603百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月12日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が693百万円減少し、利益剰余金が447百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,223	52,045
受取手形及び売掛金	6,403	5,867
たな卸資産	7,000	5,983
その他	6,233	7,323
貸倒引当金	△131	△152
流動資産合計	63,729	71,068
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	8,289	9,691
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	15,705	17,103
土地	26,095	26,158
その他（純額）	5,588	6,739
有形固定資産合計	55,679	59,692
無形固定資産		
のれん	1,675	1,345
その他	6,016	6,169
無形固定資産合計	7,691	7,514
投資その他の資産		
投資有価証券	14,621	14,586
敷金及び保証金	13,752	14,464
その他	6,234	6,518
貸倒引当金	△121	△103
投資その他の資産合計	34,486	35,464
固定資産合計	97,857	102,672
資産合計	161,587	173,740

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,492	4,028
短期借入金	4,501	4,304
未払法人税等	5,375	2,329
賞与引当金	1,103	1,033
その他	11,174	11,872
流動負債合計	26,647	23,567
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	13,367	23,496
役員退職慰労引当金	2,296	2,392
退職給付に係る負債	5,075	4,692
その他	1,932	2,128
固定負債合計	32,670	42,710
負債合計	59,318	66,277
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,001	4,001
利益剰余金	84,926	89,893
自己株式	△7	△8
株主資本合計	101,270	106,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,172	1,165
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	51	175
退職給付に係る調整累計額	△602	△527
その他の包括利益累計額合計	△156	36
少数株主持分	1,153	1,190
純資産合計	102,268	107,462
負債純資産合計	161,587	173,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	98,878	99,149
売上原価	57,455	58,723
売上総利益	41,423	40,425
販売費及び一般管理費	25,738	25,252
営業利益	15,685	15,173
営業外収益		
受取利息	704	767
受取協賛金	372	365
その他	1,028	735
営業外収益合計	2,104	1,868
営業外費用		
支払利息	220	225
為替差損	172	-
その他	159	103
営業外費用合計	552	329
経常利益	17,237	16,713
特別利益		
固定資産売却益	18	14
投資有価証券売却益	0	173
特別利益合計	18	187
特別損失		
固定資産処分損	204	234
その他	67	0
特別損失合計	271	234
税金等調整前四半期純利益	16,985	16,666
法人税、住民税及び事業税	6,994	6,583
法人税等調整額	18	△19
法人税等合計	7,012	6,564
少数株主損益調整前四半期純利益	9,972	10,101
少数株主利益	74	41
四半期純利益	9,898	10,060

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,972	10,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,442	△6
為替換算調整勘定	156	124
退職給付に係る調整額	—	74
その他の包括利益合計	△1,285	192
四半期包括利益	8,686	10,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,612	10,252
少数株主に係る四半期包括利益	74	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	50,323	35,657	7,550	93,530	5,347	98,878	—	98,878
セグメント利益 (営業利益)	10,714	5,462	642	16,820	1,016	17,836	△2,151	15,685

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,151百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	47,959	39,690	6,560	94,211	4,938	99,149	—	99,149
セグメント利益 (営業利益)	10,541	5,767	49	16,358	909	17,268	△2,095	15,173

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,095百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。